

syngenta

クイックガイド 種子処理機ゲペット(GEPETTO™ LXG-150)

# 安全上の注意事項

種子処理機GEPETTO™ LXG-150(以下、ゲペット)の基本的な操作と安全に関する重要な情報をまとめたものです。安全かつ適切にご使用いただくため、必ず詳細な「取扱説明書」をご参照ください。

## 1. ご使用前の確認事項

安全な使用のために

- 製品を安全かつ適切にご使用いただくため、本マニュアルに記載されている安全上の注意事項を完全に理解した上でご使用ください。これらを遵守しない場合、ケガや機械の故障につながる可能性があります。
- 本機は、設計仕様に適合する環境でご使用ください。不適合な環境での使用は、故障や機能異常、部品の損傷を引き起こす可能性があります。これらは製品品質保証の範囲外となります。
- 本製品は種子処理専用です。他の用途では使用しないでください。

## 2. 安全上の注意

修理について

- 本製品の修理は、指定された修理業者および専門担当者のみが行うことができます。無許可の改造や付属品以外の使用は、製品の故障につながり、保証の対象外となります。
- 専門担当者以外による機器の改造、配線の変更や部品交換は固く禁じます。

運転中の注意

**重要** 種子処理作業を開始する前に、適切な保護具を着用してください。

**重要** 種子処理中はトップカバーを開けないでください。トップカバーを開けると安全装置が機能し、機械は停止します。

**危険** モーター駆動部に絶対に手や指を入れないでください。

**危険** 種子吐出時に種子排出ゲート内に絶対に手や指を入れないでください。

**危険** 通電状態での機器の清掃、メンテナンスは感電やケガの危険があるため固く禁じます。

# 各部位の名称と概要



 **簡単な操作性**  
簡単操作で種子処理が可能

 **均一な塗布性**  
スクレーパー攪拌による均一な種子塗布

 **優れた時間効率**  
約120kgの種子処理が60~90秒で完了

 **多様な作物に対応**  
大豆・小豆・とうもろこし・水稻・小麦など多様な作物に対応

モデル	サイズ	重量	電圧	種子処理重/回	機能
LXG-150	76×76×110cm	60kg	単相100V	10-120kg	速度可変

# 使用方法 簡単5ステップ



使用方法の動画はこちら

(使用方法の写真はGepetto LXG-100での例)



種子を投入



蓋を閉める



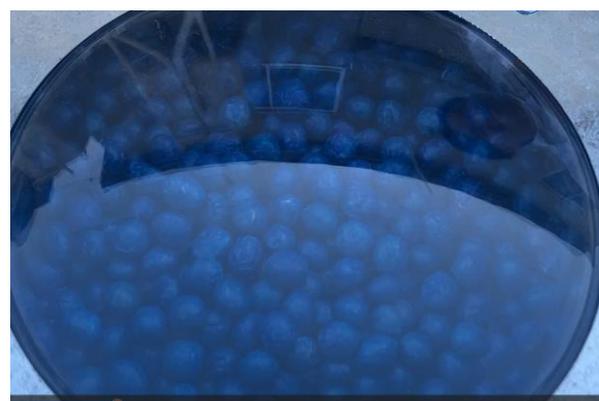
攪拌スタート



資材の投入



種子の取り出し



# 同梱物



- 保護具(グローブ・マスク・保護服・ゴーグル)
- 計量カップ
- 電源プラグ
- 吊り上げロープ

# 設置と準備

ストッパー

資材投入口



観察窓

トップカバー



安全装置  
コネクター

本体  
(ホッパー)



大豆120kg投入時の様子

## 1. 組み立てと設置

- 製品を受け取られましたら、まず外装に損傷がないかご確認ください。
- 本体(ホッパー)の上部にトップカバーを取り付けて下さい。
- 重要** トップカバーが正しく取り付けられていないと、安全装置が働き、作動しません。
- トップカバーに付属しているコネクタケーブルを安全装置コネクターに接続してください。(配線の正負は区別する必要はありません。)
- 変圧器(本体下部の青色の機器)のスイッチをオンにしてください。
- 重要** 安全装置コネクターが正しく接続されていないと作動しません。両側のコネクターが正しく接続されていることを確認して下さい。
- 電源プラグを本体及び单相100Vのコンセントに差し込んでください。
- 電源プラグの差し込み後、電源が入ったことを確認してください。
- 重要** テーブルタップ等での複数接続(タコ足配線)は行わないでください。

## 2. 種子の投入と資材準備

- トップカバーを開け、本体(ホッパー)内に異物が混入していないか確認してください。
- 重要** 使用の際は同梱のマスク、グローブ、ゴーグル、保護服などを着用してください。
- 種子を投入し、トップカバーを閉めてください。
- 農薬のラベルをよく読み、ラベルの指示に従い、適切に種子処理資材の準備をしてください。ラベルの記載以外には使用しないでください。

# 操作手順

操作パネル



電圧インジケータ

速度表示

速度調整ノブ

ストップ

スタート

操作パネル

種子排出  
ゲート

## 3. 運転操作

- 電圧インジケータが200V以上240V以下であることを確認してください。
- 操作パネルの速度調整ノブを回して、速度表示が低速(15Hz)になるようセットしてください。
- スタートボタン(RUN)を押して運転を開始します。
- 種子の損傷を避けるため低速からゆっくり速度を上げてください(中速30Hz程度まで)。

**重要** 運転中はトップカバーを開けないでください。安全装置が起動し停止します。

**危険** 本体内部に絶対に手や指を入れないで下さい。

## 4. 種子処理資材の投入

- 攪拌速度が安定したらトップカバーの投入口から種子処理資材をゆっくりと投入してください。観察窓から種子の状態を確認できます。

## 5. 攪拌時間

- 均一な種子処理のため、全体の処理時間は60~90秒を推奨します。  
(資材投入30~60秒+投入完了後の攪拌10~30秒)
- 処理時間は種子の種類、種子処理剤の量、攪拌速度によって異なります。

## 6. 種子の排出

- 全ての種子が処理されたら、ストップボタンを押して攪拌を停止します。
- その後、排出ゲートを開けて処理された種子を排出してください。

**危険** 必要に応じて、低速で攪拌しながら排出してください。

**種子排出時に排出ゲート内に絶対に手や指を入れないでください。**

# 使用後の清掃



清掃方法の動画はこちら

## 7. 清掃

- 種子処理作業後は、必ず機械内部を清掃してください。
- ⚠️ **危険** 清掃前に必ず電源プラグが抜いた状態であることを確認してください。
- 📌 **重要** 清掃の際は同梱のマスク、グローブ、ゴーグル、保護服などを着用してください。
- 濡らした紙や布で種子処理資材の残渣を拭きとってください。
- トップカバーを取り外し、本体(ホッパー)内部とトップカバーを濡らした紙や布で拭いてください。
- 📌 **重要** ブレード部を拭くときは指を切らないように注意してください。
- 固着した残渣は、柔らかいブラシや濡らした紙や布で除去してください。残渣物が腐食を引き起こし、機械の寿命を縮める可能性があります。処理効果に影響が出ることがあります。
- ⚠️ **危険** 本体(ホッパー)に直接水をかけて清掃しないでください。インバーター等に水がかかると感電や故障に繋がります。

## 8. 長期保管

- 長期間使用しない場合は、使用後は直射日光の当たらない及び雨風を受けない場所で保管してください。



濡らした紙や布で拭きとってください



モーター

変圧器

インバーター

水がかからないように注意してください

# 大豆でのクーラーMAXXの上手な種子処理のポイント

## 1. 攪拌速度の設定

- 種子の状態を確認しながら速度調整してください
- 回転速度は(低速)15Hz~(中速)30Hzを目安に速度調整してください

## 2. 液体種子処理資材の投入

- 液体の種子処理資材は、投入口から30~60秒かけて少しずつ投入してください
- アビオスリーを使う場合、クーラーMAXXとアビオスリーの投入の順番はどちらが先でも問題ありません

## 3. 粉末種子処理資材の投入

- 液体種子処理資材の投入完了後に、粉末種子処理資材を投入してください

## 4. 攪拌時間

- 資材投入後は10秒-30秒程度攪拌してください
- 攪拌完了後、種子の状態を目視で確認してください

**重要** 攪拌時間が長すぎる場合、種子の割れや薬剤の剥げが起こるため観察窓で様子を見ながら攪拌してください  
**重要** 攪拌完了後は速やかに種子を吐出してください。種子処理後に時間を置くと、本体(ホッパー)内で種子が側面に固まり、吐出しにくくなる場合があります

### <大豆の120kg処理時の使用例>

回転速度：30Hz アビオスリー投入20秒+クーラーMAXX投入40秒+攪拌10秒

# よくあるお問い合わせ

## Q1. 電源プラグを差し込んだが電源が入らない。

A1. ・まずは、電源プラグが正しく接続されているかご確認ください。

・変圧器(本体下部に取り付けされている青色機器)のスイッチがオフになっていないかご確認ください。

## Q2. 電源が入っていることは確認できたが、スタートボタン(RUN)を押しても動かない。

A2. ・トップカバーが正しく装着されているかご確認ください。トップカバーが正しく装着されていない場合、安全装置が機能するため作動しません。

・安全装置コネクタの接続をご確認ください。電源プラグをコンセントから抜き、安全装置コネクタから4本のコネクタケーブルを外してください。その後、再度4本のコネクタケーブルを安全装置コネクタに正しく接続してください。配線の正負は区別する必要はありません。

・テーブルタップ等での複数接続(タコ足配線)を行っていないかご確認ください。タコ足配線の場合、適切な電力供給が行われず、作動しない場合があります。

## Q3. 種子処理作業の完了後、本体(ホッパー)の内部を水洗いすることは可能か。

A3. 本体(ホッパー)の外部、内部に直接水をかけて清掃しないでください。インバーター等に水がかかると感電や故障に繋がります。種子処理作業完了後は、本体(ホッパー)を濡らした紙や布で清掃してください。